

<b>団体名</b>	公益財団法人 さっぽろ青少年女性活動協会	<b>所在地</b>	札幌市
<b>団体概要</b>	1973年に設立以来、青少年・女性・市民の活動をサポートしている。 札幌市男女共同参画センターがある札幌エルプラザ公共4施設をはじめ、数多くの児童会館・自然体験施設・劇場などの運営に携わり、青少年の健全育成と社会参加、社会教育の推進、市民活動の振興を図り、次世代リーダーの育成・支援・協働・共創を促進している。		

## 起業支援による女性の居場所・つながり創出事業

<b>背景</b>	<p>経済産業省は地域の金融機関や産業・創業支援機関等を中心とした「女性起業家等支援ネットワーク」を全国10カ所に構築してきた。北海道では同法人が受託し、北海道女性起業家等支援ネットワーク（通称ほくじよき.net）を組織し、道内の支援機関、金融機関、行政なども連携している。</p> <p>ほくじよきは、広い北海道で地域の事情に応じた起業支援を行うため、2017年、当事者性をもって支援を行っている道内各地（地元）の女性起業家を「じもじよき」と名付けてネットワーク構築を図ってきた。</p> <p>出産・子育てによりキャリアが築けていない、社会経験の不足など、女性ならではの理由による働く機会の喪失、母や妻といった属性以外の居場所の喪失に悩み、「仕事」に就くに至らない女性は道内各地にいる。シングルマザーなど経済的課題を抱えているケースも多い。</p>
<b>活動内容</b>	<p>休眠預金の事業では、困難を抱えた女性にフォーカスし、外部の女性支援の活動をしている個人・団体に評価・アドバイス等をいただきながら起業支援を行っている。当初困難を抱える女性として「若年時妊娠女性」を設定していたが、事業を進めていく中で対象が狭いことに気づき、「困難を抱える女性」全体にターゲットを広げた活動を行っている。</p> <p>21年8月までは、LINE相談を行っていた。じもじよきとほくじよきが情報交換をしながら、各じもじよきで参加者を募集し、起業につながる独自のプログラムを実施している。</p> <p>起業の魅力のひとつは、生活スタイルに合わせ自分らしい働き方の選択ができること。子育てとの両立等女性ならではの課題の解決につながる。業種、規模などさまざまな起業の在り方があり、ほくじよきでは「watasimo」という専用サイトを立ち上げ、道内各地の起業家女性を紹介している。各じもじよきメンバーも起業家でありロールモデルとなっている。</p> <p>例：じもじよき道東の取り組み</p> <p>道東地域において、さまざまな理由で働くことへの不安や困難を抱える女性を対象に、「なんでもやってみる」「ライティング」「イラストレーター」の3つのチームに分けて活動している。それぞれに指導者（チーフ）を依頼し、委託費のほとんどは指導者への謝金として使用した。参加は無料。</p>

参加者は釧路・根室管内の広範囲の市町に及び、何かをしたいがこの町ではできないと諦めている人が多い。釧路に通うことさえ困難である人も多いため、「距離」「時間」「できない」を超えるということをテーマとし、オンライン会議システム Zoomなどをフル活用した。

### 活動を実施する中での気づき・発見（成果・効果）

転勤族の妻として移転してきたり、独特のジェンダー感覚があったりなど、地方ならではの孤立感がある。地方の価値観は、札幌とは違うことが事業を進めてよくわかった。地域により起業のニーズも悩みも違い、それぞれのじもじよきメンバーの価値観も違う。そこがたいへんでもあるが、このネットワークの豊かなところでもある。

じもじよき道東では、ライター養成講座を受けていた人が地元の情報サイトで記事を書くまで伴走し、現在何人もライターとして活動している。イラストの講座は発信の場の創出に力を入れ、イラスト展を開催した。自己発現の機会になるとともに住む地域の発信・魅力発見につながっている。「今住む場所で何ができるか」を一緒に考えてきた。

起業は女性にとって働きやすい形であり、社会も女性の力を求めている。

### 課題、今後取り組もうとしていること（展望）

困難がある人にアウトリーチすることが難しい。起業支援というアプローチは独特ではあるが、プログラムを体験することで、できることがこんなにあると自信が持てる。同じような立場の人や、起業している先輩と交流する場を設け、また「watasimo」を通じて起業家の活動や思いを発信することで引き続きさまざまなロールモデルを示していく。



ほくじよきでは、「ワタシモ」という専用サイトで女性起業家へのインタビューを発信し、ロールモデルを示している



じもじよき道東の相座聖美さん。コワーキングスペースを運営する女性起業家

### 活動内容に関する問い合わせ先

公益財団法人 さっぽろ青少年女性活動協会 事業係長 菅原亜都子  
電話：011-728-1255 メール：jigyoun@danjo.sl-plaza.jp